

KK 2019.JUL

品番:304-6261 B a t t C h e c k バッテリーチェッカー Bluetooth



本製品は専用アプリをダウンロードした端末でバッテリーの状態をモニターで確認する事が出来ます。
接続距離は 5~10m (障害物により距離は異なります。) 接続は Bluetooth で行います。

規格 ● 電圧範囲 : DC 4 V ~ 3.2 V ● 作動温度 : - 4 0 ℃ ~ 8 5 ℃ ● 防水規格 : I P 6 6

● 待機電流 : 2.0mA 以下 ● 通信規格 : Bluetooth 4.0 ● 周波特性 : 2.4GHz ● 対応 OS : IOS 8 以降 / Android 4.3 以降

(通常よりバッテリー上がりが早まります。定期的な残量チェックを心掛けましょう。)

基本機能



A: バッテリーチェック

B: 電圧メーター

C: 電圧記録 (年/日)

D: 設定ページ

画面下のアイコンで4つの操作が行えます。

- A: バッテリーの状態を診断します。4つの品質レベルで案内します。
100% (充電不要)・75% (そろそろ充電)・50% (充電が必要)・x (要交換)
- B: 電圧値を L I V E で表示。ダイヤル部のカラーは状態の意味合いを表現。
- C: バッテリー電圧値の経過をグラフで表示。レンジは年と日で切替可能。
- D: 製品名を変更する事が可能。複数台使用の際などサーチ後も迷わず選択可能。

アプリのダウンロード

①GooglePlayまたはAPPストアから BattCheck アプリをダウンロードして下さい。QRコードを読み込むか各ストアにおいて”BattCheck”で検索

Android



Apple



取付け方法

- ②本製品の配線を赤線はバッテリーのプラスと黒線はマイナスに接続して下さい。正常に接続がされた場合には本体のLEDランプが点滅します。(待機状態を表します。)
- ③バッテリー上面など空いているスペースに本体を貼り付けて下さい。貼付け面を良く脱脂してから剥離紙を剥がし貼付け願います。

接続方法

- ④スマートフォンの Bluetooth 機能をオンして下さい。Android の場合にはより良い信号を受信する為に WiFi 機能をオフにする事をお勧めします。
- ⑤端末画面のアイコンから BattCheck アプリを立ち上げ、ホーム画面を開いて下さい。
- ⑥右上の検索ボタンを押すと取付けた B a t t C h e c k デバイスが検出されます。
- ⑦検出されたデバイスをタップすると接続されます。電圧メーターが表示されます。
- 接続中、ユニット本体のLEDランプは点滅から点灯に切替わります。
- ⑧デバイス画面では右上のアイコンで接続・解除が切替え可能です。



操作方法

画面下のアイコン選択により各機能が使用可能です。(A～D)

A: バッテリーチェック

- ①アイコンAをタップして下さい。
- ②メインキーをONにして下さい。エンジンはまだかけない事。
ヘッドライトをロービームのみ点灯させ、他の電子機器のスイッチをオフして下さい。
- ③10秒後にバッテリー品質が4つのレベルで表示されます。
100% (充電不要)・75% (充電した方がよい)・50% (充電が必要)・× (バッテリーを交換すべき)
実際のバッテリーレベルを計測する為には放電による電圧の低下を測定する必要があります。
測定時にはヘッドライトをオンにして、バッテリーを放電処理しなければなりません。

☆注意☆ 精密な診断を行うにはエンジンが冷めた状態で診断して下さい。
(少なくとも一時間はエンジンを作動させていない状態)

B: 電圧メーター

- ①アイコンBをタップすると電圧メーターが表示されます。
ダイヤル表示部分のゲージの色は状態の意味合いを示しています。
・左側のレッドゾーン: 過小電圧 (早期警告機能欄を参照ください) ・イエローゾーン: 電圧が低目 ・グリーンゾーン: 正常電圧
・ブルーゾーン: 充電中 ・右側レッドゾーン: 過充電 レギュレーターの故障が考えられる。(早期警告機能欄を参照ください。)

早期警告機能欄 : 車両を運転するとき、バッテリーへの充電電圧の状況を判断し警告を発します。

- ・オルタネーターが正常でバッテリーが充電電圧を受けつついる場合には“Charging” (充電中) と表示されます。
- ・バッテリーが充電を受け取っていないときは、電圧表示の下に単語は何も表示されません。
これはバッテリーが充電されていない状態が続いているので電力の使い過ぎ等、早めの点検をする事をお勧めします。
- ・過小電圧時や過充電の状態が続く場合には潜在的な故障の警告として接続端末は着信音と振動を受信します。
電圧がダイヤルのレッドゾーン左側に続いていると“Under voltage” (過小電圧の意味) と表示され、警告信号を端末に送ります。
電圧がレッドゾーン右側に続いている場合には、電圧表示の下に“Charging voltage too high” (充電電圧が高すぎの意味) と表示されます。これは過充電である事を示し、警告信号を端末に送ります。
オルタネーター、接続、配線、およびレギュレーター機能を早急に点検してください。

C: 電圧記録

端末と接続している間の電圧変化を記録します。アイコンCをタップ確認できます。

D: 設定ページ

- ①アイコンDをタップすると設定ページが表示されます。
デバイス名を変更する事ができます。デバイスを複数台使用している時に便利。
- ②変更後、SAVEアイコンをタップして下さい

接続中は赤点灯

バックグラウンドモードと再接続

スマートフォンのHOMEボタンを押すとアプリは非表示になりますが、アプリはバックグラウンドで引き続き動作しています。バッテリー不調、すなわち過電圧または過小電圧の場合、早期警告をスマホが受信し着信音と振動アラームで知らせます。アプリ起動時には大量のデータを受信する為、スマートフォンのバッテリー消費が増える事に注意してください。Bluetooth エリアを離れると、アプリへの接続は自動的に切断されます。アプリに保存されているデバイスが1つだけの場合は、Bluetooth デバイス画面右上の「接続」アイコンをタップすると再接続されます。アプリに複数のデバイスが保存されている場合は、スキャンページで目的のデバイスの行をタップする必要があります。

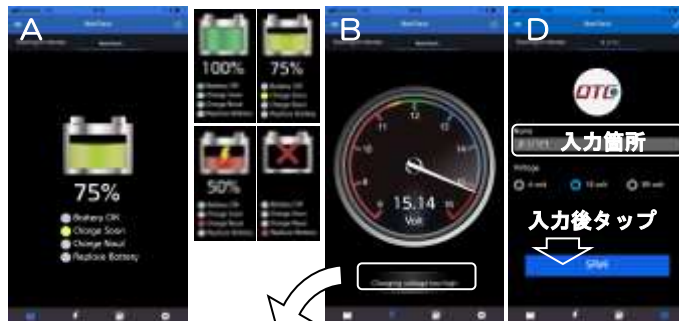
☆注意☆

本製品装着中は待機消費電流が発生しますので車両を放置した場合には通常よりもバッテリー上がりが早まります。状態の良いバッテリーでも2ヶ月以上放置する事は出来ません。使用開始時にはバッテリーの残量を定期的にチェックし、残量の経過を追って自身のバイクの状況をご確認下さい。お早目の充電又はエンジン始動をお勧めします。

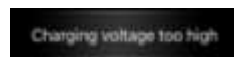
発売元 株式会社 キジマ

〒123-0841 東京都足立区西新井4-16-3

電話: 03-3897-2167 FAX: 03-3897-2138



充電中



充電電圧が高過ぎ



デバイス名変更

